

税務署受付印



繰越雑損失がある場合の源泉 所得税の徴収猶予承認申請書

_____ 税務署長

_____年 _____月 _____日提出

住 所	(〒 -)
フリガナ	
氏 名	(印)
電話番号	

次の者から支払を受ける令和____年分の給与等・公的年金等・報酬等に対する源泉所得税について、徴収猶予を受けたいので申請します。

支払者の名称 又は氏名	支払を受ける場所	給与等・公的年金 等・報酬等の別	本年分の収入 金額の見積額 円	徴収猶予を受ける限 度額又は猶予期間

この写しは、交付を申し出た者から提出された申請書の正本と相違のない
ことを証明します。

令和_____年 _____月 _____日 _____ 税務署長 印

◎ 給与等・公的年金等・報酬等の支払者は、この写しの提出を受けた場合、上の申請について税務署長から承認又は却下の通知があるまでの間は、この写しの提出の日の翌日を徴収猶予開始の日として、同日以後支払う給与等・公的年金等・報酬等について源泉所得税を徴収する必要はありません。

税務署 整理 欄	写し交付年月日	整理番号		
		0		

(裏面)

書 き 方

- 1 この申請書は、繰越雑損失の金額があるため、給与等・公的年金等・報酬等の源泉所得税の徴収猶予を申請する場合に提出するものです。
- 2 この申請書の写しは、納税地の所轄税務署長の証明を受けてから、給与等・公的年金等・報酬等の支払者に提出してください。
- 3 この徴収猶予は、所得者1人について3か所以内の支払者から受ける給与等・公的年金等・報酬等についてだけ受けることができます。したがって、1人で4か所以上から支払を受けている人は、そのうちから3か所以内の支払者を選択してください。
なお、給与等の支払を2か所以上から受けるときは、そのうち主たる給与（「給与所得者の扶養控除等申告書」の提出先から受ける給与）の支払者を、必ずこの徴収猶予を受ける支払者に含めなければなりません。
- 4 「支払を受ける場所」欄には、支払者の事務所・営業所等の所在地を書いてください。
- 5 「徴収猶予を受ける限度額又は猶予期間」欄には、別紙（「徴収猶予を受ける限度額又は猶予期間の計算書」で計算した限度額（⑩、⑪、⑫及び⑬）と猶予期間（⑭）をそれぞれ移記してください。